



モビLAB@KUROBE基地 中間報告会

未来の移動を、みんなで研究し、みんなでつくる

2025. **10.4** SAT
10:00-12:00

お申し込みは
こちらから



会場 まじわるパーク「MAJIPA」

黒部市金屋77-2

黒部の移動をみんなでもっと楽しく・快適に変えていく



本事業は、国土交通省 共創モデル実証プロジェクト（モビリティ人材育成事業）の採択を受けて実施しています。

モビLAB@KUROBE基地
一般社団法人SMARTふくしラボ

〒938-0022 黒部市金屋77番地2



090-5754-3888



smalab.1@smartfukushilab.org

未来の移動をつくる研究拠点 モビLAB@KUROBE基地 中間報告会

モビLAB@KUROBE基地は、「地域の移動はみんなで作る」を合言葉に、黒部地域の“移動のナゾ”（具体的な課題）を解き明かすための研究拠点です。課題解決というミッションに、発見の楽しさと知的な興奮を盛り込み、より快適で楽しい移動の実現を目指します。

3つのマイクロプロジェクト

①住民の意識一つで
公共交通の利用は
増える説



②公共交通を活用すれば
どこからでも介護サービス
は受けられる説



③助け合いサービスで
ちょっとした困りごとが
解決する説



CDPJメンバー

- ・一般社団法人SMARTふくしらボ
- ・Co mobility Lab（株式会社日建設計）
- ・株式会社図解総研
- ・一般社団法人コミュニティドライブ
- ・株式会社Liquitous
- ・その他、各分野の専門家



コミュニティ・ドライブプロジェクト（CDPJ）とは

地域の移動課題に向き合い、解決策を導き出し、地域（community）の移動を促進（drive）する人材「コミュニティ・ドライバー」の育成を目指し、そのために必要な武器となる「コミュニティ・ドライフトール」（データ活用、課題の見える化、地域の合意形成）を開発するプロジェクトです。

内容

データが語る3つの「〇〇説」の真実

目的

今回の中間報告では、3つのマイクロプロジェクトそれぞれの中間データを分析し、仮説の検証状況と、そこから見えてきた新たな示唆を共有。必要に応じて仮説や実験内容を修正します。

活動内容

- ・各プロジェクトの中間データと予備考察。
- ・それぞれの仮説について「なぜ？」を深掘りし、実験計画を見直し、データ分析と仮説を再構築します。
- ・中間報告で得られた知見や残された課題から、既存のプロジェクトとは異なる視点での「新たな『〇〇説』」が生まれる可能性を探ります。

参加者の皆さまへ

お申し込みは
こちらから



SMARTふくしらボ
プロジェクトマネージャー
小柴 徳明

データは時に、私たちが予想もしない「真実」を語り始めます。現場の声とデータを重ね合わせることで、課題の本質が見えてきます。この場で得られた「気づき」は、次なる研究への重要なヒントとなるでしょう。是非、皆さまのご参加をお待ちしております。

事務局	一般社団法人SMARTふくしらボ
住所	富山県黒部市金屋77-2
TEL	090-5754-3888
メール	smalab.1@smartfukushilab.org